

令和7年度第4回介護保険運営協議会会議録

- 1 会議名 令和7年度第4回介護保険運営協議会
- 2 開催日時 令和8年2月4日（水）午後1時30分から午後2時58分まで
- 3 開催場所 一関保健センター多目的ホール
- 4 出席者
 - (1) 委員 秋保茂樹会長、吉原睦委員、高橋一夫委員、小川みどり委員、伊藤誠記委員、岩淵松義委員、沼倉恵子委員、蜂谷幸夫委員、長田昌委員、佐藤みさ子委員、星進悦委員
(欠席：村上秀昭副会長、岩淵一昌委員、阿部英里子委員、長澤茂委員)
 - (2) 事務局 佐藤正幸事務局長、山形雅彦介護保険担当参事、菅野文子介護福祉主幹、及川久美子事務局次長兼介護保険課長、小野寺久美一関西部地域包括支援センター所長、佐藤恵美一関東部地域包括支援センター所長、中村謙介介護保険課長補佐兼認定調査係長、糸数透介護保険総務係長、金野美由紀資格給付係長、菅原大輔主任社会福祉士、小野寺俊英主任主事、若生晃央主任主事、鈴木正志主任、太田真希子さくらまち地域包括支援センター所長、小野寺伸はないずみ地域包括支援センター所長、小野寺理恵しぶたみ地域包括支援センター所長、小野寺朝子ふじさわ地域包括支援センター副看護師長、鈴木恵ひらいずみ地域包括支援センター所長
- 5 議 事
 - (1) 報告事項
 - ア 指定地域密着型（介護予防）サービス事業所の指導監査について（資料1）
 - イ 令和7年度指定地域密着型（介護予防）サービス事業所等運営指導の実績について（資料2）
 - ウ 令和7年度地域連携推進会議の報告について
 - (ア) 一関西部地域連携推進会議（資料3-1）
 - (イ) 一関東部地域連携推進会議（資料3-2）
 - エ 指定介護予防支援及び第1号介護予防支援事業の一部委託届出について（資料4）
 - オ 特別養護老人ホーム入所待機者調査結果について（資料5）
 - カ 介護保険料算定における所得基準の改正について（資料6）
 - キ 指定地域密着型（介護予防）サービス事業者の指定廃止について（資料8）
 - (2) 審議事項
 - ア 地域密着型（介護予防）サービス事業者の指定更新について（資料7）
 - (3) その他
- 6 公開、非公開の別 一部非公開
- 7 非公開の理由 一関地区広域行政組合情報公開条例第7条第3号アに該当するため
- 8 傍聴者 なし

9 挨拶

[事務局長挨拶]

委員の皆様にはご多用のところ、第4回介護保険運営協議会にご出席いただき感謝申し上げます。

また、日頃から介護保険制度の円滑な運営について、多大なるご支援ご協力を頂いていることに、改めて御礼を申し上げます。

さて、当組合管内では、人口減少とともに、少子高齢化が一層進行し、高齢化率は令和8年1月末現在で39.77%であり、昨年同期と比べ0.58ポイント上昇しており、今後も同様の傾向が見込まれているところである。

また、介護の必要性が増す75歳以上の高齢者が増加しており、要介護認定者数と介護給付費が増加する見込みであることや、増加する認知症の人とその家族への支援の充実が求められていること、また、生産年齢人口の減少に伴う介護の人材不足が大きな課題となっているところである。

本年度は第9期介護保険事業計画の2年目になるが、地域包括ケアシステムの推進、認知症の人への支援対策の推進など8項目を長期目標に掲げ、それぞれ定めている短期目標を実現するため、課題解決に向けて取り組んでいるところである。

今後とも皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

本日は、指定地域密着型サービス事業所の指導監査など7件について報告させていただくほか、指定地域密着型サービス事業者の指定更新について審議をお願い申し上げます。

委員の皆様方には、地域に密着した広い視点からお気づきのご意見を賜りたいと考えているのでよろしくようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

[秋保会長挨拶]

本日は、年度末、さらに衆議院選挙が行われているなどご多忙の中、お集まりいただき感謝申し上げます。慎重な審議をよろしくようお願い申し上げます。

10 審議

(1) 報告事項

ア 指定地域密着型（介護予防）サービス事業所の指導監査について（資料1）

一関地区広域行政組合情報公開条例第7条第3号アに該当するため非公開

イ 令和7年度指定地域密着型（介護予防）サービス事業所等運営指導の実績について（資料2）

事務局が資料2により説明した。

議長 質問、意見はないか。

委員 全員「なし」

議長 報告は以上とする。

ウ 令和7年度地域連携推進会議の報告について

(ア) 一関西部地域連携推進会議（資料3-1）

(イ) 一関東部地域連携推進会議（資料3-2）

事務局が資料3-1及び資料3-2により説明した。

議長 質問、意見はないか。

委員 一関東部地域連携推進会議の報告書について非常に有意義なものと感じた。

自分が死を迎えるときに、自分自身がどうするか考えて意見を持っておかないと、周囲の人や社会がどのように支援をしていけばよいか判断が難しいと思う。そのため、地域でのACP（※）の普及啓発について、保健所との連携も必要だと考える。

（※ACP：アドバンス・ケア・プランニング（Advance Care Planning）の略称。もしものときのために、本人が望む医療やケアについて事前に考え、家族や医療・ケアチームなどと繰り返し話し合い、共有する取組のこと。愛称は「人生会議」。）

事務局 保健所だけではなく多くの関連団体との連携は必要と感じているので、今後考えていきたい。

議長 ほかに質問、意見はないか。

委員 避難行動要支援者名簿が一関市から送付されてくるが、対象者の中には知っている人もいれば全く接触のない人もいる。また、歩行介助が必要な人や医療的支援が必要な人もいる。生死に関わることなので、責任問題が出てきた場合の対応もある。そのような方々に対してどこまで関わるべきか判断できかねているので見解を聞きたい。

事務局 避難行動要支援者名簿は、1人ではなかなか避難行動がとれないような人の名簿で、個別避難計画の作成を推奨している。一関市ではそれらの方々に全員をバックアップすることができないことから、区長や民生委員には、地域が一体となって、その方々の見守りや避難する際の支援者をあらかじめ決めるための手助けをするという役割をお願いしている。

議長 関わるというと責任が出てくる。関わる範囲やどこまで責任を取るのかがはっきりしないと関わる方もとても困ると思う。特に身寄りがない人となるのもっと大変になると思う。当協議会の議題から外れるテーマなので、一関市で検討いただきたい。

ほかに質問、意見はないか。

委員 全員「なし」

議長 報告は以上とする。

エ 指定介護予防支援及び第1号介護予防支援事業の一部委託届出について（資料4）

事務局が資料4により説明した。

議長 質問、意見はないか。

委員 全員「なし」

議長 報告は以上とする。

オ 特別養護老人ホーム入所待機者調査結果について（資料5）

事務局が資料5により説明した。

議長 質問、意見はないか。

委員 全員「なし」

議長 報告は以上とする。

カ 介護保険料算定における所得基準の改正について（資料6）

事務局が資料6により説明した。

議長 質問、意見はないか。

委員 全員「なし」

議長 報告は以上とする。

キ 指定地域密着型（介護予防）サービス事業者の指定廃止について（資料8）

事務局が資料8により説明した。

議長 質問、意見はないか。

委員 全員「なし」

議長 報告は以上とする。

(2) 審議事項

ア 地域密着型（介護予防）サービス事業者の指定更新について（資料7）

事務局が資料7により説明した。

議長 質問、意見はないか。

委員 全員「なし」

議長 異議なしでよろしいか。

委員 全員「異議なし」

議長 異議なしと認める。

(3) その他

事務局が令和7年度第3回介護保険運営協議会の質疑応答に係る回答を資料9により説明した。

議長 質問、意見はないか。

委員 Web 講話はどのようなやり方で実施したのか。また、保健所でも興味のあるタイトルだが、講話後の受講者からの反応を教えてほしい。

事務局 公益財団法人いきいき岩手支援財団の岩手県地域包括ケア基盤確立アドバイザー派遣事業を活用し、Zoomによるオンライン講話という形で実施した。講師は東京在住の主任介護支援専門員のサポートなどを行う民間の研究所代表で、受講者はそれぞれの居宅介護支援事業所からケアマネジャーが参加した。

講話後はアンケートを実施しており、その結果、常にケアマネジャーは目標志向型でケアマネジメントをするようにと言われているが、利用者本人の意向をきちんと確認してサービス計画に位置付けることの大切さを改めて学んだ、これからは繋げていきたいという回答が多かった。

委員 高齢者の保健事業と介護予防の一体化に関連し、フレイル健診の分析は行っ

ているか。介護予防事業の有効性についてモニタリングを行っているか。

事務局 地域包括支援センターでは行っていない。構成市町が行っていると聞いている。

委員 この講話の目的は何か。

事務局 主な目的はケアマネジャーのスキルアップであり、年1回程度実施している。今回はケアマネジメントをする上での視点や本人のやる気を引き出して行動変容にいかにつなげるかという手法を、ケアマネジャーが身につけることを目的として実施した。

委員 75歳以上の健康維持のための介護予防について参考とさせていただくかもしれないので、その時はよろしくお願ひしたい。

議長 委員の皆様から審議事項はないか。

委員 日頃から民生委員として高齢者の見守りや介護予防教室に携わっているが、最近、多くの民生委員から言われているのが、介護予防教室についてである。以前は毎月行っていた事業が回数を減らされ、ケアワーカーに来ていただく回数も年3回、しかも1時間のみということで時間も減らされている。その代わりに指導者を育てるレクリエーション研修会が開催されているようだが、素人が指導者となって教室を開くのはハードルが高い。高齢化率が高くなり、なるべく介護を必要としないよう皆で頑張っていこうという時代に合わせると、ケアワーカーなどの指導をいただき、運動をして体を動かすといったことが更に必要になると思う。回数などが減らされてきていることに多くの民生委員が疑問に思っているようなので質問する。

事務局 一関市では、介護予防教室にケアワーカーを派遣している。しかし、ケアワーカーは、以前は数名いたが、現在は職員1名のみである。そういった現状から、各地域で行っている活動に対して必ず一関市からケアワーカーが行って指導するというのではなく、各地域でリーダーを育て、その地域の方々と一緒になって自主活動として実施してもらおうという形にしている。ケアワーカー以外に一関市レクリエーション協会や一般社団法人一関市スポーツ協会にも派遣をお願いし、人数を確保して実施している状況である。また、それぞれのリーダーを育てるための研修会を年に数回開催し、地域のリーダーを広げていくという形が一関市の考え方である。

委員 一関市レクリエーション協会や一般社団法人一関市スポーツ協会も含めて年に3回までの派遣となっている。もう少し増やせないか。

事務局 人口が減っており、その中で職員を増やすのは現実的な問題としてなかなかできないというのが実情である。そのため、地域で実施していくような形をとらざるを得ないというのが実態であるが、一関市が支援できるものについて3回は派遣しており、そこは継続しながら体制を整えていきたいと考えている。

議長 他に意見はないか。

委員 私も地域で介護予防教室を開催している。以前は月1回必ず市からケアワーカーを派遣してもらい年12回開催していたが、今はケアワーカーの減少により派遣回数が減ってきている。それに伴い現在は、年間計画を立ててケアワーカーと講師に各2回ずつ来てもらい、残りは全て私が実施している。

いつまでも自分の足で歩いて、みんなと触れ合うことにより、認知症になることを1日でも遅らせようと介護予防教室を開始したので、全てケアワーカーなどに頼るのではなく、その地域で考えていかないと継続できなくなってしまう。そのようなところも考えながら実施しているところである。

議長 知恵を出し合い継続できるとよい。

ほかに審議事項などないか。

委員 質問だが、一関東部地域連携推進会議の報告書は非常に良かった。これは住民に周知しているのか。

事務局 一関東部地域連携推進会議は、一般公開はしていなかったが、地元の新聞記者に取材してもらい、後日、記事で掲載してもらった。

委員 ACPや身寄りなし問題など、元気なうちから知っていたほうがよいと思う内容で非常に良い会議だったと思うので、ぜひ広く住民に周知されるようにしていただきたい。

議長 ほかに審議事項などないか。

委員 全員「なし」

議長 審議等の一切を終了する。

11 その他

事務局 審議等事項以外の部分で連絡事項など、委員の皆様から何かあるか。

委員 全員「なし」

事務局 次回以降の運営協議会の開催予定について事務連絡をさせていただく。

本年度の開催は本日が最終である。次回、令和8年度の第1回は6月頃の開催を予定している。

このほかに、介護サービス事業所の指定時期の都合などにより、急ぎ書面での開催をお願いする場合もあるので、あらかじめご了承ください。

12 担当課 介護保険課